

Thermik2022

九州大学航空部



Thermik2022(vol. 34)

1. 巻頭言	主将 渡辺 良祐……………4
2. ごあいさつ	部長 東野 伸一郎……………5
3. ごあいさつ	監督 牧田 厚雄……………6
4. 部員より ……………	8
○航空部に入部して	経済学部1年 筏津 結奈
○夢に向かって	共創学部1年 城野 佑貴
○航空部に入部して	工学部1年 藤田 航旗
○航空部との出会い	工学部1年 別府 良真
○航空部の沼	工学部1年 山崎 大生
○2年目	工学部2年 江渕 大千志
○反省	理学部2年 大渕 慧陽
○飛び始めて1年	工学部2年 下新原 統也
○「生存報告」	経済学部2年 杉原 匡紘
○競技会！	工学部2年 田所 穰
○努力	工学部2年 中野 嶺
○私と航空部	工学部2年 花谷 凜子
○航空部2年目	工学部2年 山口 侑樹
○バトンを繋ぐ	工学部2年 渡辺 良祐
○「自身の成長と航空部への感謝」	共創学部3年 長田 百合香
○一年間	農学部3年 亀田 優花
○航空部員として	工学部3年 難波 優希
○復活しました	工学部4年 青木 俊樹
○4年間ありがとうございました	工学部4年 阿部 美咲
○卒業します！	工学部4年 望月 啓世
○今後についての報告	工学部4年 矢野 智幸
5. 会計報告	会計 中野 嶺……………21
6. 活動報告 ……………	28
7. 活動風景@2022……………	30
8. 編集後記	編集 江渕 大千志……………34

巻頭言

師走の候、OB・OGの皆様におかれましてはますますのご清祥のことと存じます。今年度もテルミックを発行する季節となりました。新型コロナウイルスの猛威が収まりつつある時期ですが、九州大学では感染対策を万全にしつつ、安全第一にフライト訓練や日々の活動に励んでおります。この場を借りて、一年の活動の様子をご報告させていただきます。

4～5月にかけて新入生勧誘のために機体の展示や体験搭乗を実施し、無事8名の新入部員を迎えることができました。これまで先輩方に教わってきたことを受け継ぐため、指導方法や合宿での教習体制を工夫し、下級生にグライダーの楽しさを知ってもらえるよう奮励いたしました。

本年度から九州大学所有のASK21（JA2509）を滑空場にて使用し、整備合宿や無線検査、毎回の訓練での組みばらしを学生主体で行うことができました。ゴールデンウィークの休暇を使って学内で機体の組みばらしの練習を行い、訓練を安全に実施することを目指しました。月に1回実施される九大合宿ではなかなか成熟しない機体組みを集中的に行うことで、より効率的に訓練に励むことに繋がったのではないかと思います。

大会に関しまして、今年度は8月の久住山岳滑翔大会、9月の日本学生グライダー新人競技大会、11月西部学生グライダー競技会など、様々な大会に参加することができました。長時間の耐空や初めての大会の経験、他大学の学生との交流を通して、部全体でも個人でもより一層成長への士気が高まり、部員一同熱心に訓練に取り組んでおります。

そして、本年度2月に千葉県関宿滑空場で開催される七大戦では、1年生から4年生まで計11名の学生が選手として参加します。また妻沼で行われる全国大会には4年矢野智幸が6年ぶりに出場予定です。選手一人一人悔いのないよう、全力を尽くして参りますので、応援の程宜しく願いいたします。

来年度は大会の経験を活かし、安全に、より意欲的に活動できるよう励んで参りたいと思います。

最後になりましたが、今年度もOB・OGの皆様のご支援のもと無事安全に活動を行うことができましたこと、部員一同心より感謝しております。

今後とも皆様のご協力、ご指導の程、何卒宜しく願いいたします。

九州大学航空部 主将 渡辺 良祐

～部長先生より～

ごあいさつ

九州大学航空部 部長 東野 伸一郎

皆さまお元気でお過ごしのことと思います。例年よりもやや遅めですが、テルミックをお届けする季節となりました。サッカーのワールドカップを見ると、誰一人マスクをすることもなく大歓声の中で試合が行われており、世界ではもうコロナ騒動は終わっているようですが、どうも日本ではまだまだ時間がかかるようです。やっと昨年から航空部の活動も再開されていたところではありますが、残念ながら今年も OB・OG 会は開催できませんでした。この数年は、新入部員の歓迎コンパや忘年会なども開催されないため、私も 3 年生以下の部員の顔と名前が全く一致しない状態となってしまうています。毎週、講義のたびにしているはずの学生たちについても同様で、人の顔を認識するためには、マスクをつけた状態の目だけではなかなか難しいということを感じます。ぜひ来年は対面での OB 会を実現させ、OB・OG と現役学生のお互いの顔を覚えるいい機会となることを願ってやみません。

昨年のテルミックでは、3 年生の矢野君の JCAB の試験についてお知らせしました。矢野君は無事試験に合格し、4 年生となった現在は、さらに教育証明取得をめざして頑張っています。今年の全国大会にも、おそらく九工大との混成チームのメンバーとして参戦することになるかと思います。今年は七大戦も久しぶりに開催されるようです。お時間の許す皆様には、応援をぜひよろしくお願いいたします。教育証明取得と言えば、同様に取得を目指している堤君も、第 63 次日本南極地域観測隊越冬隊員としての 1 年半の越冬生活を終え、2 月には砕氷船「しらせ」に搭乗して 3 月末には帰国します。ライセンス取得希望者のための支援金については、OB・OG の皆様にはこれまでのご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を頂ければと思います。

今年は、1 年生 7 名、2 年生と 3 年生各 1 名、計 9 名が新しく入部してくれました。グラウンドでの機体展示を実施するとともに、今年も SNS などによる勧誘がメインだったようです。時代の移り変わりを感じますが、ぜひ 4 年間継続して一生のつきあいとなる友人を作り、ソアリングの楽しさを覚えるとともに、ライセンスの取得も目指してくれればと願うところです。

今年はまだひとつニュースがあります。全日空に勤務されていた大森正勝さんが、7 月 1 日づけで日本文理大学教授および航空部部長にご就任されました。現在のところは九大と日本文理大の航空部の間で、特に協調して実施していることはありませんが、今後ぜひ何らかの協力関係を築いていければと思っています。

それでは一日も早いもとの日常への復帰、そして安全なフライトを祈念するとともに、OB・OG の皆様方のご健康と益々のご発展を祈念して筆をおきたいと思います。

～監督より～

ごあいさつ

九州大学航空部 監督 牧田 厚雄

OB/OGの皆さま、お元気で過ごしのことと思います。今年も Thermik をお届けする季節となりました。2022年はコロナの波はまだありましたが、やや沈静化傾向でもあり、3年振りに久住山岳滑翔大会や西部学生グライダー競技会も開催されました。また、九大合宿も順調に実施できた年でした。以下、写真と共に、活動状況をご紹介します。

1月：JCAB 自家用操縦士実地試験に当時3年の矢野智幸部員が望み、見事合格。毎回のことですが、実技練習より口述試験の仕上げが大変でした。写真は国土交通省試験官の下、機長の出発前の確認（航空法第七十三条の二）を実施する矢野部員。



4月：白川合宿です。ピストで運航管理を行う九大部員。九大航空部のツナギの色はブルーです。背中にはスローガンの疾風迅雷と九州大学の松の葉をモチーフとしたシンボルマークが入ります。



初ソロ@白川滑空場：（望月啓代4年@4月17日）近年は国土交通省航空局からの指導もあり、初ソロは2名の教官による技量認定と索切れ処置練習（ダミーブレイク）の後に続けて初ソロが実施されます。



初ソロ@白川滑空場：(左：青木俊樹 4年@11月27日，右：山口侑樹 2年@12月10日)



8月：第40回久住山岳滑翔大会が3年振りに開催されました。獲得高度、滞空時間(Max30分)を競います。全国より12校28名(内女子8名)が参加。九大からは山口、田所、大淵、江淵の4選手が参戦。戦績は残念ながら入賞ならず。来年度に期待。



11月：第35回西部学生グライダー競技会がこちらも3年振りに開催されました。妻沼の全国参加選手選考会を兼ねます。九大、熊大、九工大から13名の選手が参加。九大は団体2位でした。



最後にOB/OGの皆様へのお知らせとお願いです。2023年2月末から3月初旬にかけて、七大戦と全国大会がそれぞれ関宿滑空場、妻沼滑空場で開催されます。九大からの全国大会参加は2018年以来5年振りとなりますが、矢野智幸部員(4年)がASK21(JA2509:九大白雲)で出場します。皆さま、関宿、妻沼での応援のほど、宜しくお願いいたします。

- 第62回全国七大学総合体育大会航空の部 千葉県野田市関宿滑空場
競技日：2月25日(土)～3月2日(木)
- 第63回全日本学生グライダー競技大会 埼玉県熊谷市妻沼滑空場
競技日：3月6日(月)～3月11日(土)

～部員より～

航空部に入部して

経済学部1年 後津 結奈

私は中学生のころに、あるテレビ番組で航空部の存在を知りました。部活で「空を飛ぶ」ということに衝撃を受けつつも、すごく魅力的に感じ、大学生になったら航空部に入りたいなど、なんとなく考えるようになりました。ちょうどそのころ、近所にあるマイクロプレーン場外発着場に連れて行ってもらい、(グライダーではないですが)初めて空を飛びました。大きくはこの2つの出来事によって、航空部に入ることをかなり前から意識していました。高校生の中には、航空部のある大学というのも、志望校を選ぶ基準の一部になっていました。無事、九大に合格して、航空部のグラウンドガイダンス・教室ガイダンスに参加することが出来ました。そこで私は「文系があまりにも少ない」という、冷静に考えれば当たり前のようなことに気づきました。航空部にはかなり少ない文系女子で不安はありましたが、それ以上に憧れがあったのと、上回生の皆さんや体験搭乗の際に教官方と話して、大丈夫だと言って頂いたことが決め手となり入部しました。

実際に合宿に参加してみて、ランウェイワークは想像以上に体力が必要になり、楽しいことばかりではないですが、来年以降も技術の向上、その他運営のために自分ができることを精一杯やっていきたいと思います。また、来年以降の新入生に、文系だからとか女子だからとためらう人がいれば、その人の背中を押せるような存在になれるよう、一步ずつ成長していきたいです。優しく接してくださる部員の皆さんはじめ、航空部関係者の方々のお陰で、入部前の不安はこの一年で嘘のようになくなりました。これからも周りの環境に感謝しながら、安全第一で活動していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

夢に向かって

共創学部1年 城野 佑貴

初めまして。九州大学航空部1年の城野佑貴と申します。

私には幼少の頃から、自衛隊の操縦士になりたいという夢がありました。高校生の頃にはこの夢を目指せる道に挑戦しました。まずは航空学生と呼ばれる、高卒後すぐに自衛隊の操縦士を目指せる制度を受験しましたがあえなく不合格。防衛大学校に進学すれば少し遠回りをして同様に操縦士を目指せるということで受験して合格を頂けたため進学しましたが、厳しい生活環境に適応できず退校、その後再受験をして九州大学に入学し、今に至ります。

無論今でもパイロットになる夢は諦めていません。いつか自分の手で操縦する飛行機で空を飛ばたい、初めてこう思ったのはいつだったか思い出せませんが、九大で航空部に入部すればこの夢を学生のうちに叶えられるかもしれない、そう思い私は入部を決意しました。

初めてグライダーに乗った時の衝撃は一生忘れられません。キャノピーが閉められ、少し

機体が動き出したかと思えばグングンと加速し、気が付けば空の上にはいました。あまりの感動に涙を流したのを覚えています。初めて参加した合宿では、何度かフライトを繰り返したところで教官に少し操縦桿を触らせて頂きました。自分で操縦桿を倒した方向に機体が傾くという初めて味わう不思議な感覚に少し戸惑い、恐怖さえ感じましたが、同時にいつかは教官の手を借りずに自分で全部やれるようになりたいという思いが高まりました。

私は今年度怪我をしてしまうなどして現段階であまり合宿に参加できていませんが、在学中にソロフライトを達成すること、そして卒業後にはパイロットになることを目標に、勉学・部活ともに精進してまいります。今後ともよろしく願いいたします。

航空部に入部して

工学部1年 藤田 航旗

私が航空部について知るきっかけとなったのは、入学後間もない頃に行われた部活動のグラウンドガイダンスでした。幼い時から飛行機を利用する機会が多くあったため、同じように空を飛ぶグライダーにも興味がありました。初めてグライダーの機体を目の前にしたとき、率直に大きいなと感じました。特に、翼が想像より長く細く、尾翼に「疾風迅雷」と書かれた白い機体はとても美しかったです。はじめは、エンジンのないグライダーをどのように空に飛ばしているのか不思議に思っていました。そこで部員の人に話を伺ってみると、ウインチと呼ばれる機械を使い約1 km先から引っ張って飛ばしているとのことでした。その後、航空部の具体的な活動内容について説明があり、すでに航空部に興味津々だった私は躊躇なく体験搭乗させてもらうことにしました。いざ訓練を見学させてもらうと、2機のグライダーが次々に離陸着陸している光景に圧倒されました。そして、体験搭乗の順番がやってきて、多少の恐怖心と共にグライダーはすぐに空へ舞い上がりました。上空から見えた景色は格別で、風を切る音が心地よく感じました。フライトはあっという間に終わり、余韻に浸っていました。自分もグライダーに乗って空を飛んでみたいと思い、航空部への入部を決意しました。

私は後期から入部したため、現1年生の12月九大合宿が初めての活動でした。実際に合宿に参加してみると、グライダーを飛ばすには多くの準備が必要でその大変さを痛感しました。しかし、前席でグライダーに乗ると空を飛びたいという気持ちはより強くなりました。これからより多くのフライトをこなし、グライダーから新しい景色を見てみたいです。

航空部との出会い

工学部1年 別府 良真

私が航空部について知ったのは、入学式の時に九大の部活動・サークルの紹介動画を見た

時でした。もともと、夢が旅客機のパイロットで空に強い憧れを抱いていた中であの映像を見て、こんなに素晴らしい部活動があるんだと感心したのを覚えています。そのあと、グランドガイダンスで実際に搭乗させて頂いて、部活の説明会でいろいろ詳しい情報を聞かせて頂きました。そして、体験搭乗に行きいよいよ実際に飛ばせていただきました。飛ぶ前は、楽しみという気持ちよりも恐怖心の方が大きかったと思います。様々な感情でドキドキしながら出発の合図を聞き、そのまま空に飛び立ち地元熊本を空から眺めてみて飛ぶ前にあった恐怖心は一瞬で消え去りました。その日は快晴で、それから見る海や山がとてもきれいで感動しました。教官の方が、あそこに見えるのが〇〇だよと丁寧に教えてくださり、地形を把握できてとても面白かったです。このグライダーを、自分で自在に操作できるようになるとどれだけ楽しいだろうと強く感じました。飛んだ体感時間はとても短く、着陸したあと、またすぐ飛びたいなと思いました。体験搭乗を経て、私はこの部活に入ろうと強く決意しました。

現在、私は1年の12月という時期でまだ2回しか合宿に参加できておらず、初心者マークのビブスを脱ぐことすらできていません。来年には、新1年生が入ってきて私もすべきことが増えていきます。もっと合宿に参加したくさんのことを経験して、指示されて動くのではなく自分から積極的に動けるようになって、万全の状態です。2年生を迎えられるようにしたいです。

航空部の沼

工学部1年 山崎 大生

初めまして。1年の山崎です。私は幼いころから空を飛ぶことが夢で、それを実現するために航空部に入部しました。初めての合宿は7月九大合宿でした。初めの合宿では同期の合宿参加がかなわず、一年は自分のみで参加することになり、先輩ばかりのなか合宿に参加しました。当然ながら、生きてきて一度もグライダーにかかわったことがなかったので、右も左もわからずなかなか貢献できなかったため、正直なところ100%楽しかった合宿とは言えなかったです(笑)。それでも継続的に合宿に参加することが大切だと考え、毎月の合宿に参加し、西部グライダー競技会を迎えました。クルーとして参加しましたが、日程が長く、体力的にも厳しいものでしたが、交流が増えつつあった同期とともに乗り越えたことによって、仲間とともにグライダーを飛ばすことの達成感、楽しさを感じました。それを機に今では合宿に行くのが楽しみで仕方ありません。航空部の沼に完全にはまりました。沼りました。

12月九大合宿ではほとんどの同期メンバーが参加し、ますます合宿の楽しさを実感しています。今後は同期メンバーとともに合宿に参加し、それぞれ刺激をしあって、一人一人が毎合宿ごとに成長していければいいなと思っています。

2年目

工学部2年 江渕 大千志

航空部2年目の年でした。今年度は部の運営に関わる仕事を割り振られることが増え、さらに後輩の教育にも携わることになりました。1年目は1つ1つの活動の全体像がつかめず、流れに従ってただただやるべきことをこなしていましたが、今年度は自らが主体的に動かなければならない場面が増え、1年目と比較すると大変ではありましたが、大きく成長することができた1年だったと感じています。

今年度は8月に行われた久住山岳滑翔大会に出場することができ、全国の航空部員との交流を深められた年でもありました。大会に出場するのは初めてで、西部地区以外の航空部員と出会ったのもこの時が初でした。コロナ禍にある影響もあり、他地区の学生も同様に大会初参加の人が多かったようです。初めて自身のフライトを採点され、競い合う経験は新鮮で、刺激になりました。また、高いレベルにある全国の学生のフライトを見ることができ、技量向上のモチベーションが高まりました。一度同じ地に集まり競技、寝食を共にした仲間が全国各地で頑張っていることを思うと、活力が湧いてきます。参加して本当に良かったと思っています。

その他、今年度は西部学生グライダー競技会も開催され、私はクルーとして参加しました。西部地区の同期や先輩方が周回タスクをクリアして点数を獲得しているのを見て、また刺激を受けました。

来年度は3年生となり、部を主導していく学年となります。フライトの技量向上に努めつつ、同期と協力し、部の維持及び発展に貢献できるよう精力的に活動していきたいです。

反省

理学部2年 大渕 慧陽

今年の自分の航空部の活動の中で最も大きかったものは新人戦に出場したことでした。木曽川滑空場で1週間フライトしていろいろな意味で本当に多くの刺激をもらったと思います。

今まで久住・白川以外でフライトをしたことは一度もなく、新しい滑空場でフライトをすることは楽しい反面怖くもありました。自分たちがよく知る滑空場ではどのポイントをどのような方向・高度・景色で通過していくかを意識しながら飛んでいます。知らない滑空場の上空で目印を見つけられなかったりするとあまり確信をもって飛べず不安になります。知らない滑空場に行っても、ランウェイと自分の位置関係を見て先の判断をできるような操縦技術を身につけたいです。

新人戦では関東東海関西の同学年の人たちと接することが多くありましたが、本当に技術面でも知識面でもかなり劣っていたと思います。ランウェイで彼らのフライトを見たり、

宿舎などでフライト等について議論をしたりする中で、自分に地上でのシミュレーションや学科が足りていなかったと反省し、今は新人戦での悔しさが学科へのモチベーションになっています。

同期の2年生や先輩の部員が最近ソロフライトに出て、また良い刺激をもらえているので、自分も負けずと努力し、九大チームのメンバーとして全国大会で良いフライトをできるような選手を目指します。

飛び始めて1年

工学部2年 下新原 統也

グラウンドガイダンスでJA2509の操縦席に座って「なんだか楽しそう」と思いグライダーに興味を持ち始めて早1年半が過ぎました。思ったより難しく、飛んでいる時間も少ないですが、この期間様々なことを経験することができました。

グライダーを飛ばすにあたって欠かさないリトカーの資格を取得することができました。外から見ているとただ軽トラを運転しているだけですが、知らなければいけない知識は想像を大きく上回るほどありました。

索の強度、速度、侵入と被った時のタイミング、見学者、釣り人の安全を守る方法など、

航空部ってただ飛ぶだけじゃないということを痛感し、それも航空部の良さだと思うようになりました。今では去年では考えられないウインチの教習までできるようになりました。先輩ウインチマンは皆ライセンスでありプレッシャーも感じますが、普通の学生では到底触ることのないような機械に触れることができるのでやりがいを感じています。ウインチマンになるのが今の一つの目標です。

フライトに関しては練許がなかなか発行されなかったり、時間が足らなかったりして今年あまり大会に出ることはできませんでした。

ただ、滝川でATで飛んだり、着陸、場周判断ができるようになったりと去年より経験値を貯め、成長していると思います。初ソロ、初単座機、ライセンスの取得など目標というか楽しみにしていることはたくさんありますが、あと2年と少し(もしかしたら4年)航空部での活動を楽しみたいと思います。

「生存報告」

経済学部2年 杉原 匡紘

皆さんお久しぶりです。最近顔を出していないのでOBの方々だけでなく文字通りの「皆

さん」なのですが… 実は別の趣味にごっそり金を持っていかれてまともに部活に参加できておらず、この文章を書いていると少々気まずい気持ちになります。ここでは最後に参加した（する予定だった）6月合宿の話と今後の予定についてお話ししたいと思います。6月の合宿で初めて班長を拝命したのですが、参加者をリストに載せ忘れるわ前日の人拾いの時間設定を忘れるわと考えていなかったゴタゴタが生じるわけです。極めつけは雨天中止の判断を勝手に出してメールに流すという失態で、中止メールを班長が流しているのを日頃見ていたので「班長がやるんだ」と勘違いしていたのが原因でした。「マニュアルは読み込むこと、ある程度自分で決めて提案した上で聞くこと」を教訓として学びました。人やモノに損害が出る前に学べたのでむしろ良かったと思っています。これからについてですが、部室でシミュレーターを使ってもいいと最近知ったので金欠の間はこちらにお世話になろうと思っています。最後に、日頃から活動に協力いただいている教官方とOBの皆様に感謝を申し上げて締めくくりとさせていただきます。今後ともよろしくお願いします。

競技会！

工学部2年 田所 穰

こんにちは！2年生の田所です。いつの間にか今年もThermikを書く季節になりました。私は今年1年間航空部で活動してきて多くの刺激的で楽しい体験や経験をしましたが、特に競技会関連が印象に残っているので今回はそちらについて紹介させていただきます。

というのも今年1年間でなんと3つの競技会（8月久住での山滑、9月木曾川での新人戦、11月の西部地区大会）に参加させていただきました。コロナ渦でどの大会も3年ぶりの開催となり、非常に貴重な経験だったと思います。まずは、山滑。初めての大会で初めてのゼッケン、最初こそは緊張や不安もありましたが、1週間を通して最高に楽しく充実したものとなりました。滞空こそはできなかったものの、大会や全国の航空部員との交流の楽しさを知ることが出来てよかったです。次に、新人戦。こちらは木曾川滑空場で行われました。私としては九州の白川と久住以外では飛んだことがなかったので「他の滑空場で飛べる！」ということで楽しみにしていきました。木曾川の空は白川とは違い、遠くに名古屋の高層ビル群が見えたり、伊勢湾が広がっていたりと新鮮な景色でした。とは言ったものの最後にしたジョイフライト以外は競技であまり景色を楽しむ余裕はありませんでした笑。また、全国のいっぱい飛んでいる同期に出会えたことはとてもいい刺激になりました。結果では他地区との力の差を見せつけられてしまいましたが、次会った時には負けないように頑張ろう！とモチベーションがとても上がりました。最後に西部地区大会。こちらは普段一緒に活動している西部地区の人たちとの交流をより一層深めることが出来ました。また、周回競技だったので初めてのことも多かったのですが、多くの先輩たちが高くまで上がり楽しそうに周回しているのを見て自分も来年、再来年にはそのように飛べるようにしたいと思え良い経験になりました。

手短かに3つ紹介しましたが、本当にどの大会も楽しく空が好きな全国の航空部員と交流

できることは他の部活にはない航空部の強みだと思います。今年も多くの新入生が入ったのでぜひ後輩たちにもいっぱい飛び、多くの競技会に出場してもらいたいと思います。私自身、次は七大戦を楽しみにしていますので、より一層楽しめるように目標として早くソロに出られるように頑張りたいと思います。それでは、また来年度もよろしくお願いいたします。

努力

工学部2年 中野 嶺

こんにちは、2回生の中野です。航空部に入ってから1年が経過したということで、かなり航空部の一員になってきたという実感があります。今年の振り返りをしようと思いますが、昨年度のテルミックで目標としていた機体係ですが、今年の取得は叶いませんでした。このことにも言えることですが、今年は努力の大切さを痛感した1年だったように感じます。去年同時期には同学年に係持ちが居ませんでした、今年は複数人誕生していますし、ソロに出た人もいます。人と比べるのはあまり好きではないですが、その人たちと比べると圧倒的に足りないのが努力だと思っています。係に関しては積極的に教習に参加し、組みばらしの機会を自主的に設ける、オーラル対策をして諮問に望むという姿勢。フライトに関しては地上で資料を見てシミュレーションをすること、コンドルを使って何度も何度も練習すること。係教習にしてもフライトにしても、無限回できる訳では無いので合宿1回1回の重要性を理解しているのだと思います。私はそんな子たちが同学年にいることが誇りですし、尊敬していて、とてもカッコイイです。私も何とかついて行って、九大航空部史上最強の代になってみたいとおもいます。

今年の目標は昨年に続き、機体係の取得と初ソロとしたいと思います。また、タスクをきちんとこなすこと、合宿1回1回の重みを考えることも目標にしたいと思います。これからも空を飛ぶことの楽しさありがたみを感じながら、航空部の活動を続けていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

私と航空部

工学部2年 花谷 凜子

私は2年生に進級する少し前に、以前参加していた部活をやめました。やめたは良いもののこれからどうしようか、やる事がなくなって暇を持て余してただダラダラと生活するのはよくないと考え、別の部活/サークルに入ろう！と決めました。

せっかくの大学生活です。もともと、大学生にならなければ知る機会もなかったような、他ではできない経験ができるところに入りたいと考えていました。そして前々から、航空部はまさに他ではできない面白いことができる部活だと思っていました。そのため、今からで

も入部できるのだろうかという不安は少しありましたが、あまりためらうことなく入部を決めました。

グライダーに乗って滑空する時間は楽しいです。飛行機やジェットコースターでは味わえない、空が近くにある感覚がとても好きです。フライト数はまだ1桁で、技術の面ではまだまだひよっこですが、徐々に操縦技術を習得していきたいと思います。また、早く合宿における様々な役割もこなせるようになりたいです。

2年生から入部した身で、まだ合宿の参加回数も多くありませんから、同学年(2年)のみなさんのような技術があるわけでも、同期(1年)のみんなのように時間があるわけでもありません。それでも私は私なりに、楽しみつつみなさんのお役に立てるよう頑張ります。

航空部 2年目

工学部 2年 山口 侑樹

航空部に入って2年目に突入しました。合宿に行くたび、空への憧れが日に日に増しています。毎日、グライダーで空を飛ぶことを考えるほど空を飛ぶことが何よりも好きです。しかし、空を飛ぶことがどんなに好きな私でも、辛いことが昨年度よりも増えた気がします。幹部交代につき主務という役職を受け持ったり、合宿の班長を任されたりと、航空部には飛ぶこと以外にも飛ぶための準備として多くの仕事があります。合宿に行くためにも大学に提出する書類の作成をしたり、メールの対応をしたりなど、難しくはない仕事ですが、継続的に仕事を行うのが辛いと思うことが多々ありました。また、初の合宿班長では、リーダーシップが得意ではない私が合宿を取り仕切ることができるのかと悩む機会もありました。部活だけでなく学業やアルバイトもあるのでその両立にも悩みました。先輩方の偉大さを感じる毎日です。先輩が私たちのためにやって下さったこと+ α を部のため後輩のためにできるように考えていきます。来年度は3年生になり、さらに部の運営に関わっていきと思いますが、部員の皆で乗り越えていきたいです。

大変なこともある反面、嬉しいことも沢山あります。

1つは、多くの同志たちと沢山交流できることです。今年度は久住山岳滑翔大会や西部学生グライダー競技会に参加しました。8月に行われた久住山岳滑翔大会では関東や関西から、多くの学生が久住滑空場にやってきました。天候にも恵まれ、多く飛ぶことが出来ました。他地区の学生のフライトや話に多く触れることができました。航空部の世界は案外狭く、別の機会に再会することもありますので、その時は色んな話をしたいなと思います。

2つ目は、今年初ソロに出たことです。1つの目標だった初ソロに12月の九大合宿で出ることができました。初ソロに出たいと口癖のように言っていた私だったので、初めての単独飛行は今までで最高の瞬間でした。先輩方も僕の初ソロを撮るべくカメラまで持って下さっていたみたいで、嬉しかったです。ずっとイメージフライトをしたり、condorで練習したりと準備してきたので、やっとソロに出られてよかったです。初ソロは楽しすぎて笑いながら飛んでいました。次は自家用免許を取って、B章、C章、銅章と記録を伸ばして行ける

ように精進していきたいと思っております。

バトンを繋ぐ

工学部2年 渡辺 良祐

入部から早一年。航空部について何も知らない「ひよっこ」だった私は二年生となり、先輩が入部してきたことで、教わる立場から教える立場へと変化しました。

以前、部室を整理していたところ、おそらく十数年前のものだと思われる一枚の写真を発見しました。そこには笑顔で写真に写る先輩方の姿がありました。薄暗く雑多な部室。お揃いのQUACジャンパー。名前も顔も知らないけれど、そこにあるのはまさしく九大航空部でした。この先輩方の知識や経験が代々受け継がれ、私たちの中にも流れているのだと思うと、なんだか胸が熱くなりました。先輩から後輩へ。何世代も脈々と受け継がれてきたバトンを、今度は私たちが後輩へ繋いでいかなければならないのだと頓悟した瞬間でした。今、私にできることは、先輩が私に教えてくれたことを後輩に繋いでいくことだけです。そうして繋いだバトンがさらに次世代へと繋がれていくということを肝に銘じて邁進してまいります。

「自身の成長と航空部への感謝」

共創学部3年 長田 百合香

大学入学時、コロナ禍で新歓やサークル見学をできない中、「航空部」という文字を見た瞬間に入部を決めた私は、現在約20人の部員をまとめる主将を務める。旅客機のパイロットになりたいという夢に少しでも近づきたいという小さな思いから始めた私が、部活の主将になるとは当時思ってもみなかった。しかし、部員や教官方、西部地区の他大の仲間の協力と支えのおかげで日々学びながら主将を務めることができている。

大学1年生のころ、コロナにより幾度となく合宿が中止になり、地上での座学と割り振られた仕事をこなすことで精一杯だった。少しでも部の役にたちたいというモチベーションのもと、メールの送信の仕方や“ほう・れん・そう”の重要性を知り、通常の大学生活では身に付けられないようなスキルを学ぶことができた。2年生になり、先輩ができて自分の知識を後輩に自信を持って教えるために再確認をするように知識や技術習得に努めた。そして、3年生になって部の運営に注力することが多くなり、部内の方針の最終決定を下す責任を負う立場となった今。自分の判断は間違っていないか、部のためになっているか、周りの人の信頼を得ることはできているか、など自分の中での葛藤や不安があったし、今でも自信を失うことが多々ある。そんな中、部員全員の合宿オペレーションや操縦技術の向上、そして何より部員が「部活が楽しい！」と言って頼ってくれる期待に応えたいという思いの元、これまで続けることができた。

何も知らない 1 年生の私にグライダーの知識や社会のマナー、仲間と連携する重要性を 1 から教えて下さった先輩方、判断に迷ったときや部が困った時に手を差し伸べて下さった教官やコーチや先生方、失敗を重ねる中でもいつもついてきてくれる後輩、航空部で関わった全ての方への感謝の気持ちを常に忘れず、今後も活動に尽力し続けたいと思う。

一年間

農学部 3 年 亀田 優花

今年度は、前期主将の役職につくことから始まりました。今までの学生生活でそのような役目を担ったこともなく、主将という柄でもない私でしたが自分なりに精一杯行っていたつもりです。前期は一週間過ぎるたびに残り何分の何だから大丈夫、後これだけがんばったら一区切りがつく、と自分を鼓舞しながらなんとかやっていたような状況でした。各方面に迷惑をかけつつ、多くの人々の助けを借りつつ何とか任期を満了できました。

夏休みからは急遽 JA2509、JA2403 の耐空検査係を引き継ぐことになったり、第 40 回久住山岳滑翔大会や西部学生グライダー競技会で採点係を行ったり今年度はグライダーで空を飛ぶだけではない様々な経験を積めました。夏休みに入ったその時期以降はまさに毎週末久住滑空場に行っているような状況で、気持ちの面でも身体的な面でも慌ただしく余裕がありませんでした。

後期からは研究室に配属され、忙しい毎日を送っております。一時期よりは航空部に関われる時間が減ってしまっており口惜しいですが、一度きりの人生ですので後悔のないようにしていきたいと存じます。

最後に、これまで活動を続けられたのは各 OB 方や教官、部活の皆のおかげかと存じます。九州大学航空部がこれからも安全に活動を続けることができるように私にできることを精一杯行っていきたいです。

航空部員として

工学部 3 年 難波 優希

書く内容を思いつかず悩み続けていましたら締め切りを大幅に過ぎてしまいました。編集担当者へこの場を借りてお詫びいたします。また稚拙な文章になるかと思いますが、どうかお付き合いください。

自分にとってこの 1 年はよく合宿に行き会計などの業務を行っていた 2 年生の時と比較して航空部員として合宿にもほとんど参加できず、活動があまりできなかったのが心残りです。主将の役目も 3 年生が 3 人と他学年と比較して少ない中 2 人で前期、後期と交代し

ながらその役目を担ってくれたのは感謝しかありません。また活動に積極的な後輩も多く先輩として自分が不甲斐ないと思いつつも、彼らが航空部をうまく回してくれておりとても頼もしく感じています。

今年度はなかなか活動には参加できませんでしたが、体験搭乗や航空身体検査の送迎や、7月のグライダー整備、11月の無線機検査など少ないながらも航空部に貢献できました。整備などを通して普段はみれないようなグライダーの内部構造や、翼の材質の構造を学ぶことができ普段の活動を通してはわからないようなことを知ることができたのは航空部員としても私個人としても非常に興味深く感じました。

4年生になると研究室配属されより一層忙しくなり、航空部との関わりが持ちづらくなるかもしれませんが引き続き少しでも活動に参加できるようにして努力していきたいです。ここまで Thermik の趣旨とはズレておりフライトの話もほとんどできませんでしたがこのあたりで締めさせていただきます。最後までお読みいただきありがとうございました。

復活しました

工学部4年 青木 俊樹

卒業まであとわずかとなってしまったことがあまり信じられない今日この頃ですが、今まであったことを振り返ってみたいと思います。今年1年間は沢山の出来事があったため、文章がまとまらず読みにくいと思いますがご容赦ください。

2年と3年の時には合宿に全く参加しておらず、部費も滞納しがちで部員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。今年は、1月に矢野のCAB合宿の班長として復帰して以来、合宿、整備、陸送、山滑、支部競等々参加できるイベントにはほぼすべて参加し、あっという間に1年が過ぎ去ってしまいました。院試は教授にギリギリだったねと笑われながらも何とか合格することができ、支部競では班長を任せて頂いて、色々と不手際で選手の皆には迷惑をかけつつも無事終えることが出来ました。成績は団体の部で2位、個人の部では表彰台からは程遠かったものの運と同じチームの仲間に助けられて周回し点数を獲得することが出来ました。11月には初ソロにも出して頂いたので、今後は今白川シーズン中に同期や後輩と一緒にCAB試験を受験できるよう、参加できる合宿にはすべて参加するつもりです。

2年間のブランクがあったのにも関わらずここまで来られたのは、ひとえに部の仲間のおかげです。感謝してもしきれません。今後、少なくとも2年間は合宿に参加し続けたいと思いますが、部の運営は優秀な後輩に任せてあまり口を出さず、見守っていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

さて、今年は残念ながらOB会が無くなってしまったとのことなので、この場を借りてOB・OGの皆様へ1つお願いがあります。それは、今後部員がけん引免許及び準中型免許を取得する際にかかる費用の一部を補助する制度の創設をお願いしたい、ということです。けん引免許は合宿を行う際や関宿で行う七大戦の陸送のために、準中型免許はウインチマンにな

るためにどちらも必須の免許です。しかし、費用が両者とも11~14万円程度と高額であるため、合宿に継続的に参加しながらその費用を工面することは学生にとって非常に困難であり、免許取得者が一向に増えないというのが現状です。毎年何人も取得する必要はありませんが、合宿を円滑に行うにあたって少なくとも2学年に1人ずつは必要だと考えています。そこで、OBの皆様方におかれましては、今でも多大なご支援を頂いている上でさらにお願いするのは大変心苦しいのですが、今後の部のさらなる発展のために是非ご支援をご検討頂けないでしょうか。何卒よろしくお願い申し上げます。

4年間ありがとうございました

工学部4年 阿部 美咲

4年間、長いようで短かったです。係育成や主将など合宿やそれ以外でも航空部の活動に関わることができてよかったと思います。いろいろと学ばせていただきましたし、他では経験することのないよい体験だったと思っています。

今年印象深かったのは久住で開催された西部学生グライダー競技会で、私にとって初めての大会でした。練習許可証が取得できなかったため飛行することは叶いませんでしたが、ピストとして大会の支援をさせていただきました。合宿とは違う雰囲気を感じながらも、事故なく無事に役目を終えたことに安堵したのを覚えています。

タイトルにも書きましたがこれまでフライトや運営、その他様々な面でご指導いただき感謝しております。貴重な体験をさせていただいて、本当にありがとうございました。

卒業します！

工学部4年 望月 啓世

前回のテルミックには今年中にソロに出るという目標を達成したい、と書いた気がしますが、2022年4月17日ついにソロに出ることができました。初めての単独飛行は生きて帰ることばかりを考えていて、緊張のあまり正直何も覚えていません。2発目以降に心の余裕ができ、後席を見て、1人で飛んでいることを実感しました。ソロに出たものの、未だに着陸など自分の中で不安定な要素が多いので、今後改善していけたらと思います。また、今後の目標としては、自家用操縦士の免許を取得して、早く同期や中島さんと互乗したいです。

話は変わりますが、ときが経つのは早いものでもうすぐ大学卒業になります。航空部に入部しなければ関われなかった、考え方が自分と違う人々と接するうちに刺激を受け、入学時に比べたら少しは成長できたのではないかと思います。私は、大学卒業後は大学院に進学する予定なので今後は係育成などに力を入れて、後輩の成長を見守っていただけたいなと思っています。

今年 OB 会が中止になってしまいましたが、九大航空部員は OB の方々と交流できる場を設けられるよう、日々模索しております。至らない点も多々ありますが、今後とも九大航空部をご支援いただけましたら幸いです。

今後についての報告

工学部 4 年 矢野 智幸

大変お世話になっております。4 年矢野です。毎年の、OB 方からの支援本当にありがとうございます。部員数も増え必要となる車も 2 年前までは 1 台だったのが今では常に 3 台ほどを使い合宿に行く状況となっております。このように部員が増えたのも OB の皆様からの支援があつてこそであり、さらなる発展のため今後ともどうぞよろしく願いいたします。ところで、この度 2023 年 3 月に行われる全国大会に参加することをこの場で報告させていただきます。九大航空部の全国大会参加は 2018 年以來 5 年ぶりの参加となります。例年九州地区からの全国大会参加チームは 1 チームのみとされておりますが、本年は 2 チーム参加要件を満たせたチームがあつたため 2 チーム出していただけることとなり運よく参加させていただけることとなりました。本来であれば私は九州大会で 2 位だったため出場は不可でしたが、学連の方と調整していただきなんとか出場可能となりました。全国大会の目標としましては得点を取り、順位をつけることです。安全にフライトしてまいりますのでどうぞ応援よろしく願いいたします。また、卒業後に関しましては大学院生のうちに教育証明の取得を目指しております。教官方の高齢化が進んでおり九大航空部も継続の危機にさらされていると考えております。これから先少しでも役に立てたらなと思います。

R4 年度会計報告

2022 年 12 月 31 日
九州大学航空部会計 中野 嶺

◎各口座残高 (2022 年 4 月 1 日時点)

・福銀口座	220395 円
・ゆうちょ口座	762015 円

計 982410 円
内部員立替金 380647 円

◎各口座残高 (2022 年 12 月 31 日時点)

・福銀口座	621684 円
・ゆうちょ口座	467555 円

計 1089239 円
内部員立替金 56148 円

◎R4 年度部会計収入一覧表 (2022/4/1~2022/12/31)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
部費	-	-	126000	-	6000	9000	72000	15000	86000	314000
OB 助成金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	3	265588	-	-	1	-	3	-	15770	281365
各月合 計	3	265588	126000	-	6001	9000	289603	15000	146770	857965

※OB 助成金については昨年度頂いている為、今年度反映なし。

◎R4 年度部会計支出一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
燃料 / 高速代	17493	21227	16501	20351	20386	17727	48937	37244	17579	217445
部車保険	10950	7350	10710	12910	7440	12830	14280	8520	11390	96380
駐車場代	-	11000	300	-	-	500	-	-	1000	12800
自動車税	-	51700	-	-	-	-	-	-	-	51700
整備費	683	2250	3179	-	636	13348	26015	610	22830	69551
借入金返済	-	-	100497	-	6000	9000	48000	-	-	163497
その他	1693	79718	-	94	188	990	18724	185100	-	286507
合計	30819	173245	131187	33355	34650	54395	155956	231474	52799	897880

◎R4 年度各月部会計収支（詳細版）

月	日	収入	支出	項目	概要
4	6		116	その他	赤油性ペン代
	6	3		その他	利息
	8		1200	部車	部車保険代
			400	その他	コピー代
	10		1200	部車	部車保険代
			14013	部車	ガソリン代
	20		550	その他	振込手数料
	26		7350	部車	部車保険代
	29		3480	部車	ガソリン代
			1200	部車	部車保険代
	30		627	その他	マスキングテープ代
			298	その他	グリス代
			385	その他	ラップ代
5	2		11000	部車	入構証
	3		6031	部車	ガソリン代
	4		78418	その他	委員会費
			100	その他	振込手数料
			2250	部車	オイル交換代
	6		1100	その他	贈答品
	24		51700	部車	自動車税
			7456	部車	ガソリン代
	26		7350	部車	部車保険代
	27	250288		その他	昨年度七大戦返金分
	28		740	部車	高速代
			7000	部車	ガソリン代
	30	15300		その他	合宿減免分
			100	その他	振込手数料
6	3		1200	部車	部車保険代
	18		2160	部車	部車保険代
			5401	部車	ガソリン代
			5245	部車	ガソリン代
			929	部車	部車 電球、ヒューズ

	20		5855	部車	ガソリン代
			2250	部車	部車 オイル交換代
	22		100497	返済	立替金返済
	26		300	部車	駐車場代
	27		7350	部車	部車保険代
	30	126000		部費	部費徴収
7	5		40242	その他	つなぎ代※
			220	その他	振込手数料
	8		5195	部車	ガソリン代
			4360	部車	部車保険代
			780	部車	高速代
	9		1200	部車	部車保険代
	10		2340	部車	陸送高速代
			2765	部車	ガソリン代
			560	部車	高速代
	11		8341	部車	ガソリン代
	12		94	その他	領収書送付代
	15		370	部車	高速代
	26		7350	部車	部車保険
8	5		636	機体	整備用エアバッグ
	10		3000	部車	ガソリン代
			188	その他	手袋、雑巾代
			780	部車	高速代
	18		6971	部車	ガソリン代
			1560	部車	高速代
	22	1		その他	利息
	26		7440	部車	部車保険代
	29		8075	部車	ガソリン代
	31		6000	返済	立替金返済
	31	6000		部費	部費徴収
9	10		2720	部車	高速代
	23		1790	部車	部車保険代
	26		500	部車	駐車場代
			8007	部車	ガソリン代

			7440	部車	部車保険代
	27		71545	その他	九大航空部 T シャツ ※
	30		548	部車	部車修理代
			7000	部車	ガソリン代
			3600	部車	部車保険代
			12800	部車	部車 ラジエータ代
			990	部車	キー複製代
			9000	返済	立替金返済
		9000		部費	部費徴収
10	1	3		その他	利息
			327	部車	パーツクリーナー代
	2		710	部車	高速代
	3		2166	部車	クーラント代
			616	部車	ホーフーバンド代
			2444	部車	ラジエータ交換用資 材代
			13700	機材	パラシュートリパッ ク代
			220	その他	リパック 振込手数 料
	4		2070	機材	パラシュート輸送費
	6		220	その他	振込手数料
	7		1490	部車	高速代
			5932	部車	ガソリン代
			1200	部車	部車保険代
			3000	部車	ガソリン代
			1738	その他	新入生用ビブス代
			800	部車	部車保険代
	10		8638	部車	ガソリン代
			1800	部車	ガソリン代
			4301	部車	ガソリン代
			1000	部車	ガソリン代
			1600	部車	部車保険代
	12		7449	部車	ガソリン代
			16612	部車	法定 12 か月点検代
	13		3850	部車	オイルエレメント交

					換代
	17		100	その他	振込手数料
	19		36000	返済	立替金返済
	21		2160	部車	部車保険代
	23		7800	部車	ガソリン代
	26		12000	返済	立替金返済
			7440	部車	部車保険代
	28	217600		助成金	九大助成金
			780	部車	高速代
			6037	部車	ガソリン代
			1080	部車	部車保険代
	29		336	機材	Cリング代
	31		106700	その他	九大ウインドブレー カー代※
			440	その他	振込手数料
		72000		部費	部費徴収
11	2		7880	部車	ガソリン代
	6		4100	部車	ガソリン代
	7		8384	部車	ガソリン代
			8000	部車	ガソリン代
	11		1560	部車	高速代
			610	部車	電球代
	19		320	部車	有料道路代
	25		185000	その他	学連維持会員費
			100	その他	振込手数料
			1080	部車	部車保険代
			7000	部車	ガソリン代
	28		7440	部車	部車保険代
	30	15000		部費	部費徴収
12	5	15770		機材	パラシュートリパッ ク返金代
	9		6720	部車	ガソリン代
			2750	部車	部車保険代
	11		4002	部車	ガソリン代
			1200	部車	部車保険代

			500	部車	駐車場代
			6857	部車	ガソリン代
	17		877	部車	部車 冷却水代
	18		500	部車	駐車場代
	21		21953	部車	ホース破損修理代
	22	45000		支援金	新入生勧誘奨励金
	27		7440	部車	部車保険代
		86000		部費	部費徴収

※つなぎ代及び航空部 T シャツ、ウインドブレーカーについては現在部員より代金徴収中。
その為、詳細版には記載しているが、支出一覧表には含めていない。

活動報告(2022年1月～12月)

□1月

- ・1月九大合宿
- ・JCAB 自家用操縦士実地試験

□2月

- ・コロナウイルス感染拡大に伴い2月九大合宿中止

□3月

- ・3月九大合宿

□4月

- ・新入生向けガイダンス
- ・4月前半九大合宿
- ・4月後半九大合宿
- ・慰霊祭・安全祈願祭

□5月

- ・体験搭乗
- ・5月九大合宿
- ・新人講習会@久住

□6月

- ・6月前半九大合宿
- ・天候不順のため6月後半九大合宿中止
- ・白川→久住陸送

□7月

- ・7月九大合宿
- ・JA2509 クラック修理

□8月

- ・第40回久住山岳滑翔大会

□9月

- ・9月九大合宿

- ・ 第 25 回全日本学生グライダー新人競技大会@木曾川
- ・ JA2509 整備合宿・耐空検査

□10 月

- ・ 10 月九大合宿
- ・ 第 35 回西部学生グライダー競技会前半

□11 月

- ・ 第 35 回西部学生グライダー競技会後半
- ・ 久住→白川陸送
- ・ JA2509 無線機検査
- ・ 11 月九大合宿

□12 月

- ・ 12 月九大合宿

活動風景@2022



1月CAB合宿にて、矢野智幸部員(当時3年)がCAB実地試験に見事合格しました！
写真は青色つなぎの同部員が朝のブリーフィングを行っている様子です。



5月初めに行った、機体組みばらし練習@九大伊都キャンパスの様子です。一作業ごとにポイントを確認しながら、組みばらしに必要な知識を身に着け、練度を高めることができました。



7月から8月にかけて行った JA2509 のクラック修理の様子です。整備士の方のご指導の下、学生も作業の補助に携わりました。ダイブブレーキや FRP の内部構造の知識が深まり、貴重な体験ができました。



久住山岳滑翔大会閉会後に撮影した集合写真です。みんな笑顔ですね！
編集者も出場しましたが、全国各地の航空部員と交流を深めることができとても良い思い出になりました。再会が楽しみです。



新人戦@木曾川滑空場に出場した田所部員(写真左)と大淵部員(写真右)です。全国の舞台上で堂々と戦ってきました！



10月九大合宿の朝集合時の様子です。ビブスを着た教育中の新入生が多数参加した合宿でした。索付けや機体押しなど、慣れないながらも上回生のサポートを受けつつ精一杯取り組む新入生の姿が印象的でした。

最後に、今年初ソロに出た3名です！その後も順調にソロ発数を伸ばしています。
彼らのほかにも多くの部員が他大やNPO主幹の合宿にも積極的に参加し、初ソロを目指して頑張っています。応援のほどよろしくお願いいたします！



望月部員(4年)
@4月熊大合宿



青木部員(4年)
@11月九大合宿



山口部員(2年)
@12月九大合宿

編集後記

遅ればせながら、今年度も Thermik を発行することができましたのは、部長先生、監督をはじめご寄稿くださった部員の方々、そして弊誌をご覧いただいております OB・OG の皆様のおかげでございます。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

さて、2022 年度も依然としてコロナ禍にあり、予断を許さない状況が続いておりますが、航空部の活動状況はコロナ禍以前のものにしたいに戻りつつあります。2 月九大合宿が感染拡大防止のため中止となってしまったものの、その他の合宿は無事に大学からの許可が下り、実施することができました。9 月からは自炊も再開できております。加えて好転したのは大会に関するところで、3 年ぶりに久住山岳滑翔大会と西部学生グライダー競技会を開催することができました。また 2 月末から 3 月初旬にかけて、七大戦と全国大会も開催予定であり、他地区の部員との交流および培った操縦技能を競い合う場が設けられるのは非常に嬉しいです。大会開催を含め、航空部の活動に関わって下さっている方々への感謝を忘れずに、1 つ 1 つの貴重な活動機会を大切にしていきたいと思っております。

来年度も主幹学年、新入部員ともに、ライセンス取得も含む、意欲的・積極的な活動を続けていく考えであります。それに伴いまして、主に合宿全般に係る出費の増加が見込まれております。つきましては、これまで通りのご支援賜りますようお願い申し上げます。

また、Thermik に関してのご感想はじめご要望、ご意見ございましたら下記まで宜しくお問い合わせ致します。

これからの九州大学航空部のさらなる発展を切に希望しつつ、結びの言葉とさせていただきます。

2022 年 1 月 25 日

編集 江渕 大千志

ご支援振込先【ゆうちょ銀行 01790-2-126772 九州大学航空部 OB 会】
連絡先：江渕 大千志 TEL：090-1192-0798 E-mail：ebuchi.quac@gmail.com

九州大学航空部